

第4回 横須賀市都市計画マスタープラン検討会議 資 料

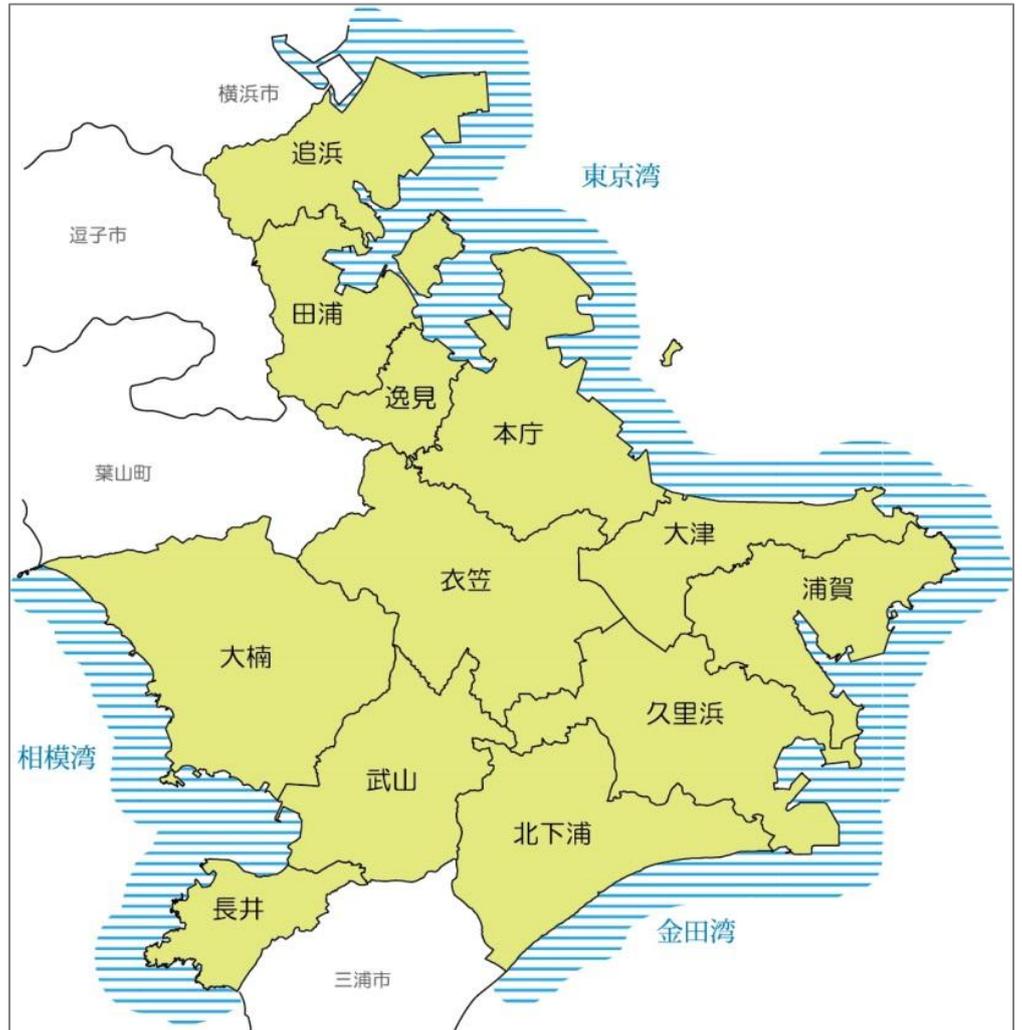
- 1. 追浜地区のまちづくり方針----- 3
- 2. 田浦地区のまちづくり方針----- 9
- 3. 逸見地区のまちづくり方針----- 15
- 4. 本庁地区のまちづくり方針----- 21

平成27年4月30日

横須賀市 都市部 都市計画課

地区別のまちづくり方針

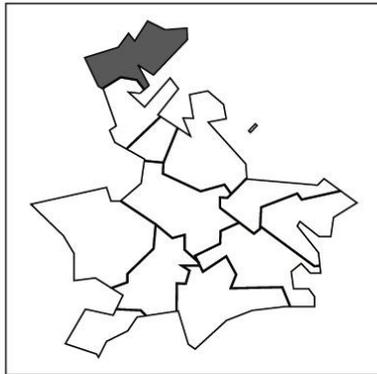
◆12 地区の区域図



1：追浜地区のまちづくり方針

(1) 概況

◆追浜地区の位置



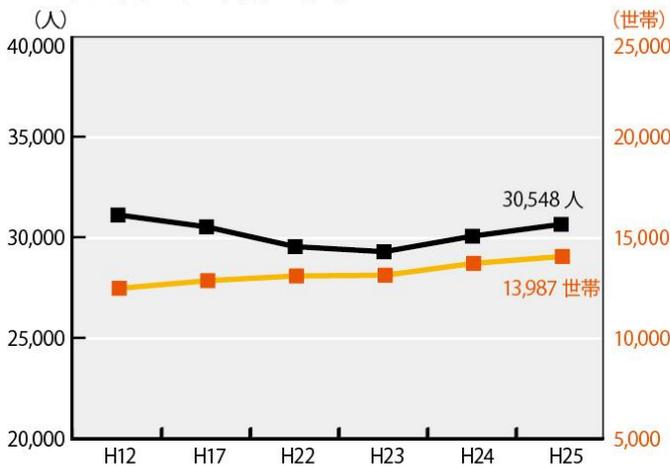
【地区の特徴】

- 夏島海岸の埋め立てによる海軍航空隊飛行場の跡地が自動車を中心とする産業用地となり、本市の中心的な産業ゾーンを形成している。追浜駅前から産業ゾーンに至る商店街が形成されて、住宅団地の開発も進んでいる。一時期は人口減少の地区であったが近年は人口増加が生じている。

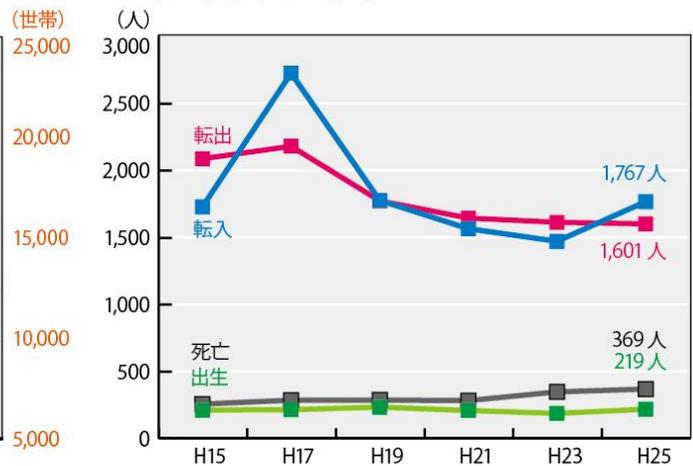
【まちづくりの魅力資源】

- 歴史：夏島貝塚、明治憲法起草の地、海軍航空発祥の地、地下壕（夏島、貝山）、雷神社等
- 自然：鷹取山、貝山緑地等
- まち：商店街、おっぱまワイン、研究所見学、横須賀スタジアム、深浦ポートパーク等

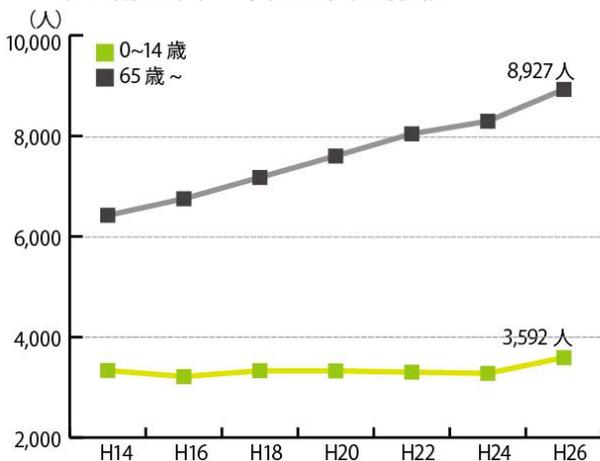
◆人口・世帯数の推移



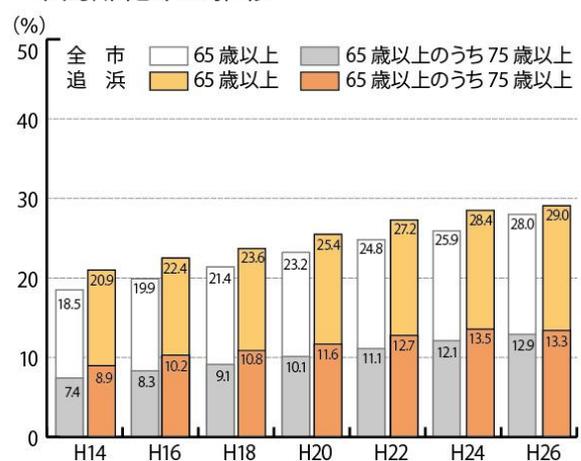
◆人口異動の推移



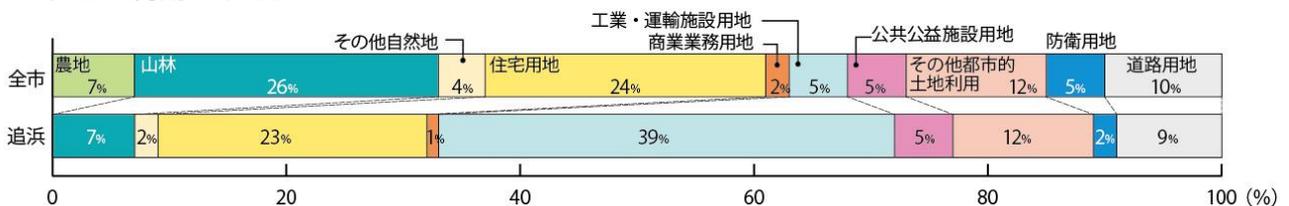
◆高齢人口・年少人口の推移



◆高齢化率の推移



◆土地利用の状況



(2) まちづくりの目標

○臨海部の自動車を中心とした産業、駅前から続く商店街、みどりの環境と調和した住宅という地区の特性を今後とも発展させていくまちづくりをめざしていきます。

「住まいと職場の魅力を高めるまちづくり」

(3) 土地利用の方針

【土地利用の骨格形成】

- ・鷹取山から塚山に至る丘陵上部は、都市のみどりの骨格を形成する緑地ゾーンとします。
- ・追浜駅周辺地区は、多様な都市機能の集積を図る拠点市街地とします。
- ・夏島や浦郷などの工業地は、多様な産業機能の集積強化を図る産業拠点とします。

【住宅地】

- ・湘南鷹取団地など丘陵上部の住宅地は、低密度の低層住宅地とします。(良好な住環境の保全など) ①
- ・追浜本町から浜見台にかけての谷戸地域は、低密度の低中層住宅を中心とした住宅地とし、環境との調和や市街地の改善を図ります。谷戸地域の持つ環境や地域コミュニティの良さを生かして多様な居住の場としていく地区や、長期的には他の地区へ住み替えなどにより縮退を図る地区など、谷戸の特性に応じた誘導を推進します。(みどりの豊かな住宅地形成、谷戸地域の利便性向上や防災性向上に貢献する開発の誘導、基盤未整備地区での段階的な縮退など) ②
- ・住宅団地のセンター地区は、日常生活の利便性に貢献するサービス機能の維持・向上を図ります。③

【商業業務地】

- ・追浜駅周辺地区は地域の拠点市街地として、商業、業務、医療、福祉、文化、交流、居住等の多様な都市機能の集積を図る拠点商業業務地とします。(市街地再開発事業、計画的な高度利用、都市機能の立地、交通結節点機能の強化、便利で魅力ある都市空間の形成、都市型住宅の誘導など) ④
- ・国道 16 号や追浜駅前通り(追浜夏島線)などの幹線道路の沿道地区は、日常生活の利便に資する商業業務機能や居住機能が共存する複合市街地とします。(生活利便施設や都市型住宅の立地誘導、計画的な高度利用とオープンスペースの充実、賑わいのある商店街づくりなど) ⑤

【産業地等】

- ・夏島・浦郷地区の工業地は、工業・研究業務地とします。国道 357 号の延伸整備を契機に多様な産業機能の集積を図ります。(新たな産業の立地誘導、産業活力の創出に寄与するコンベンション等、良好な景観形成など) ⑥

【緑地等】

- ・貝山緑地や鷹取山周辺の緑地は、市街地内の特徴ある緑地として保全活用を図ります。⑦
- ・追浜公園は、運動公園としての機能を維持するとともに、市街地内におけるみどり拠点の形成を図ります。⑧

(5) 都市魅力の創造方針

○便利で活気のあるまち

- ・計画的な住宅開発により、近年は人口の増加がみられます。産業、商業、住宅が調和した便利で活気のあるまちを形成していきます。
- ・追浜駅周辺の商店街を中心に、まちに賑わいや活気を生み出し生活の利便性を高める多様な商業業務、飲食、交流、医療介護等の機能集積を図ります。
- ・暮らしやすい便利な環境を生かして、良好な住環境の保全や住宅地整備により、いきいきした活力ある地域コミュニティの形成を図ります。

【魅力拠点のネットワーク】

- ・追浜駅前から商店街、追浜公園、貝山緑地、第三海堡構造物、夏島貝塚、海洋研究施設、深浦湾などの魅力拠点を回遊するルート of 環境整備を進めます。
- ・追浜地区の近代の歴史を伝える遺産等（貝山緑地の地下壕や夏島の砲台跡、第三海堡構造物等）をまちづくりの資源として保全活用を図ります。
- ・追浜駅前から鷹取山、田浦梅の里、塚山公園方面へのハイキングコースの環境整備を進めます。
- ・海に親しむ場所として深浦港周辺での散策、休憩等の環境整備を進めます。



【賑わい拠点の形成】

- ・追浜駅前から追浜夏島線沿道の商店街や国道 16 号沿道の商店街は、地域の商業、業務、医療、福祉、教育文化、交流、サービス等の拠点としての機能集積を図ります。
- ・地元のまちづくり活動拠点と連携して、地区の個性を生かした魅力づくりを進めます。



【産業拠点の強化】

- ・既存の産業集積に加えて、土地利用転換等による研究開発機能、コンベンション機能、滞在型研修機能等の集積により、活力ある産業拠点機能の強化を図ります。

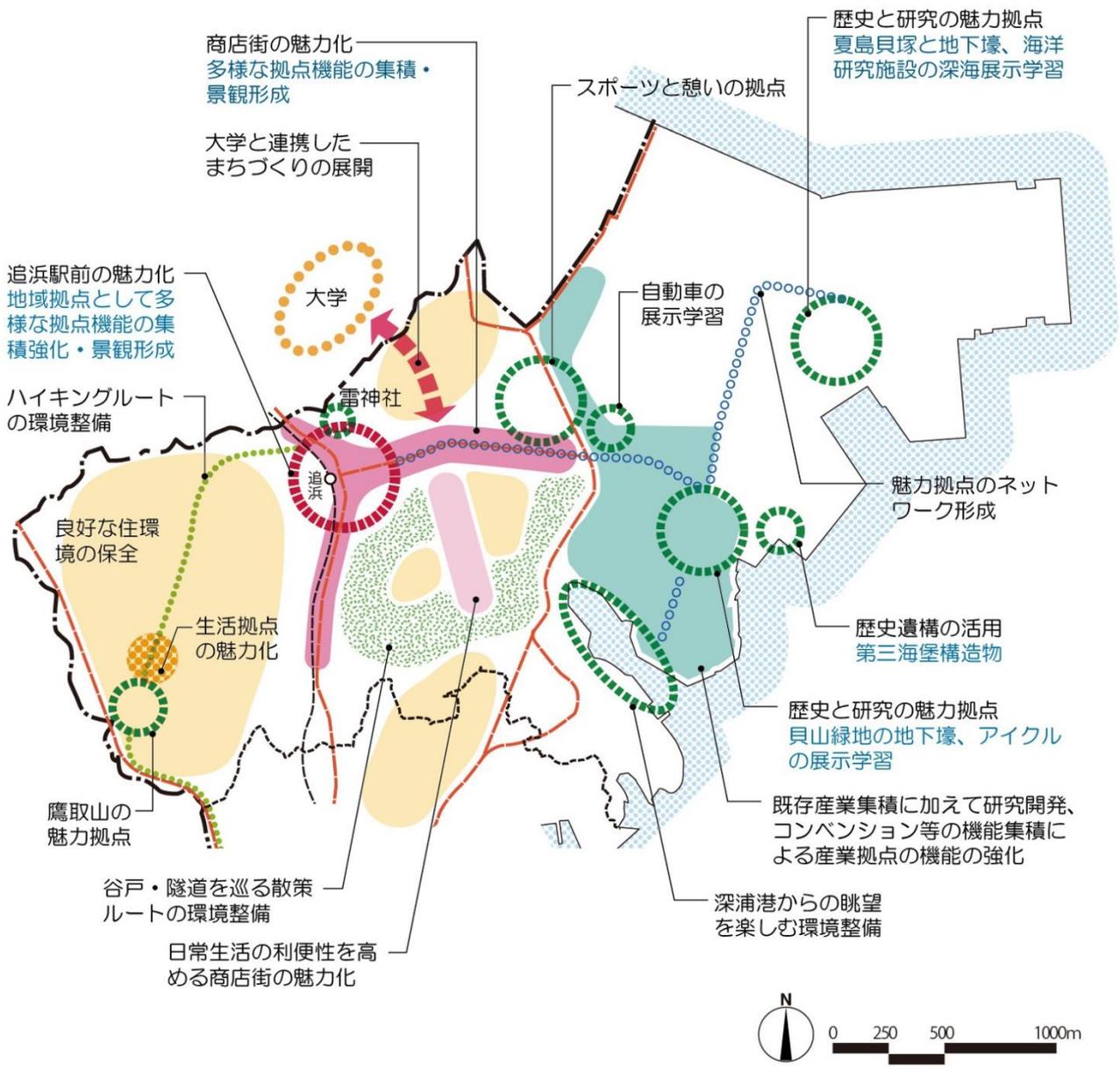


【景観形成等】

- ・追浜駅周辺では、地域の特性を活かし、拠点市街地に相応しい賑わいと魅力のある都市景観の形成を図ります。
- ・谷戸地域では、市民や土地所有者の協力を得て、斜面緑地の特徴ある景観の保全や散策路の整備を図ります。

◆追浜地区の魅力創造

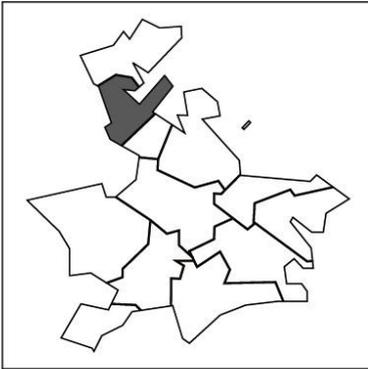
様々な歴史資源をネットワークする「フィールドミュージアム」としての展開



2：田浦地区のまちづくり方針

(1) 概況

◆田浦地区の位置



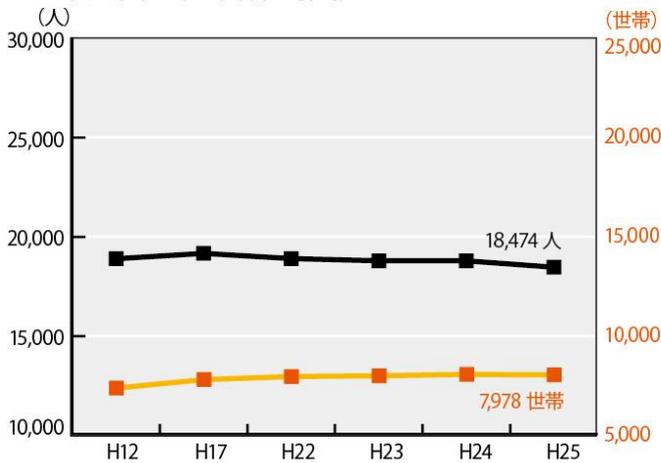
【地区の特徴】

- ・ 長浦湾沿岸に立地した海軍工廠などが戦後は民間企業に払い下げられ、工場と商店・飲食店が京急線と港湾の間に集積して賑わいのあるまちであったが、近年は空き店舗も増加している。地区の西側は逗子市・葉山町につながる谷戸と丘陵であり、丘陵の一部では住宅開発も行われている。

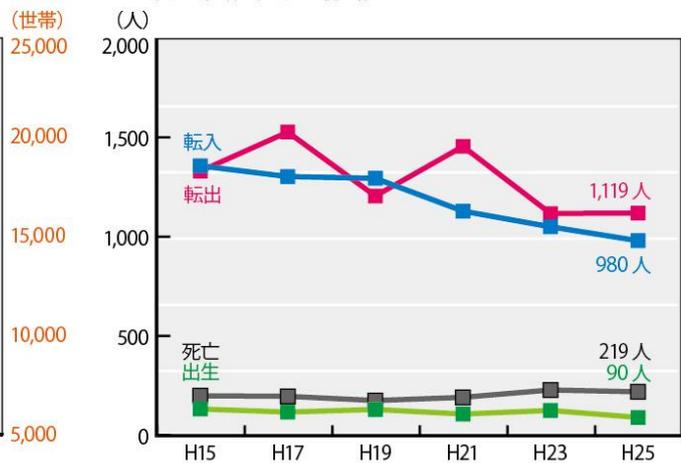
【まちづくりの魅力資源】

- 歴史：長浦湾沿い倉庫群や旧軍関連建物、古道、吾妻社
- 自然：長浦湾、十三峠、田浦梅の里、谷戸と丘陵
- まち：トンネル・隧道、商店街、ベイスターズ練習場等

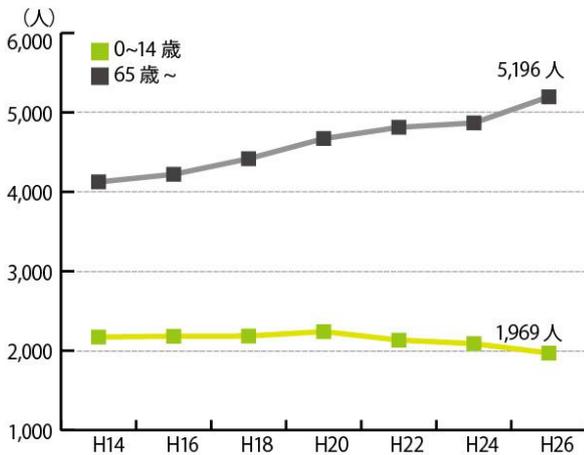
◆人口・世帯数の推移



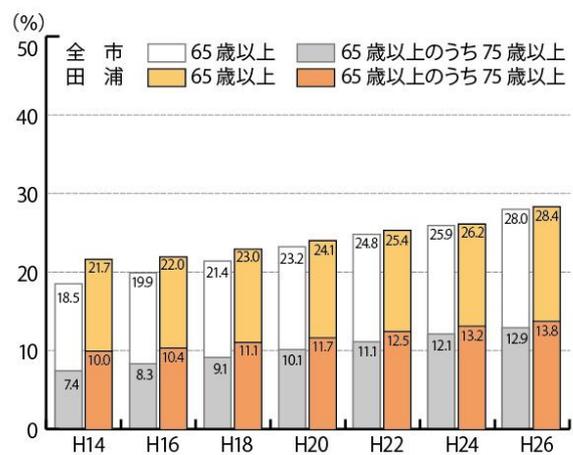
◆人口異動の推移



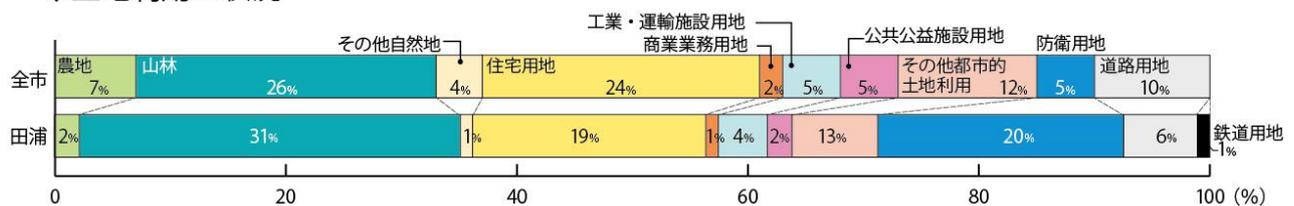
◆高齢人口・年少人口の推移



◆高齢化率の推移



◆土地利用の状況



(2) まちづくりの目標

○国道16号だけに頼るのではなく、複数ルートで他の地区とつながるような交通網の形成をめざし、閑静な谷戸の住環境の中で便利で快適に暮らせるまちづくりをめざしていきます。

「交通を整え 谷戸の自然と調和し 安心して暮らすことのできるまちづくり」

(3) 土地利用の方針

【土地利用の骨格形成】

- ・鷹取山から塚山公園に至る丘陵上部は、都市のみどりの骨格を形成する緑地ゾーンとします。
- ・京急田浦駅周辺地区は、多様な都市機能の集積を図る拠点市街地とします。
- ・市街化区域内で緑地環境と調和し、利便性向上や防災性の向上など谷戸地域の環境改善に繋がる優良な開発については、適切な誘導を図ります。

【住宅地】

- ・船越町から長浦町にかけての谷戸地域は、低密度の低中層住宅を中心とした住宅地とし、環境との調和や市街地の改善を図ります。谷戸地域の持つ環境や地域コミュニティの良さを生かして多様な居住の場としていく地区や、長期的には他の地区へ住み替えなどにより縮退を図る地区など、谷戸の特性に応じた誘導を推進します。(みどりの豊かな住宅地形成、谷戸地域の利便性向上や防災性向上に貢献する開発の誘導、基盤未整備地区での段階的な縮退など) ①

【商業業務地】

- ・京急田浦駅前から船越町交差点周辺地区は、商業、業務、医療、福祉、文化、交流、居住等の多様な都市機能の集積を図る拠点商業業務地とします。(共同建替え事業、既存商店街の活性化、駐車・駐輪機能の強化、安全で快適な歩行者空間のネットワーク、賑わいのある商店街づくり、便利で魅力ある都市空間の形成など) ②
- ・JR 田浦駅前から田浦3丁目交差点周辺地区は、地区の生活拠点として生活利便施設の立地を誘導します。(生活利便施設や都市型住宅の立地誘導など) ③

【産業地等】

- ・長浦港沿いの工業用地、流通業務用地などの地区は、引き続き工業地等として維持します。④
- ・工業用地の土地利用転換にあっては、海に親しめる環境づくりなど地域活性化に貢献する土地利用を誘導します。

【緑地等】

- ・田浦緑地から塚山公園に至る丘陵上部の地区は、都市のみどりの骨格を形成する緑地ゾーンとして保全活用を図ります。(自然環境や景観の保全、レクリエーション拠点としての整備など) ⑤

(5) 都市魅力の創造方針

○谷戸の魅力発信

- ・地形の変化、季節のうつろいを楽しめ、田浦梅の里や塚山公園など丘陵の自然環境に親しめる、横須賀ならではの魅力を体感できる谷戸の魅力づくりをめざします。
- ・京急田浦駅周辺やJR 田浦駅周辺では、生活の利便性を高める多様な商業業務、飲食、交流、医療介護等の機能集積を図ります。
- ・谷戸の市街地はみどり豊かな自然と調和した暮らしの場としていくとともに、谷戸の魅力を生かした多様な活動の場としての利用を誘導していきます。

【魅力拠点のネットワーク】

- ・京急田浦駅前やJR 田浦駅前から丘陵部への散策ルートや、鷹取山、田浦梅の里、塚山公園方面へのハイキングコースの環境整備を進めます。
- ・長浦湾から海を眺望できる場へのルート、湾岸の歴史を伝える建物や倉庫群等を巡るルート、横浜 DeNA ベイスターズ練習場の周辺や海を眺望できる港町公園を巡るルートなど、地区の魅力資源を巡るネットワークの形成を図ります。

【賑わい拠点の形成】

- ・京急田浦駅周辺やJR 田浦駅周辺の商店街は、地域の賑わいの拠点として商業、業務、医療、福祉、教育文化、交流、サービス等の機能集積を図ります。
- ・地元のまちづくり活動拠点と連携して、地区の個性を生かした魅力づくりを進めます。

【海と山の魅力拠点の形成】

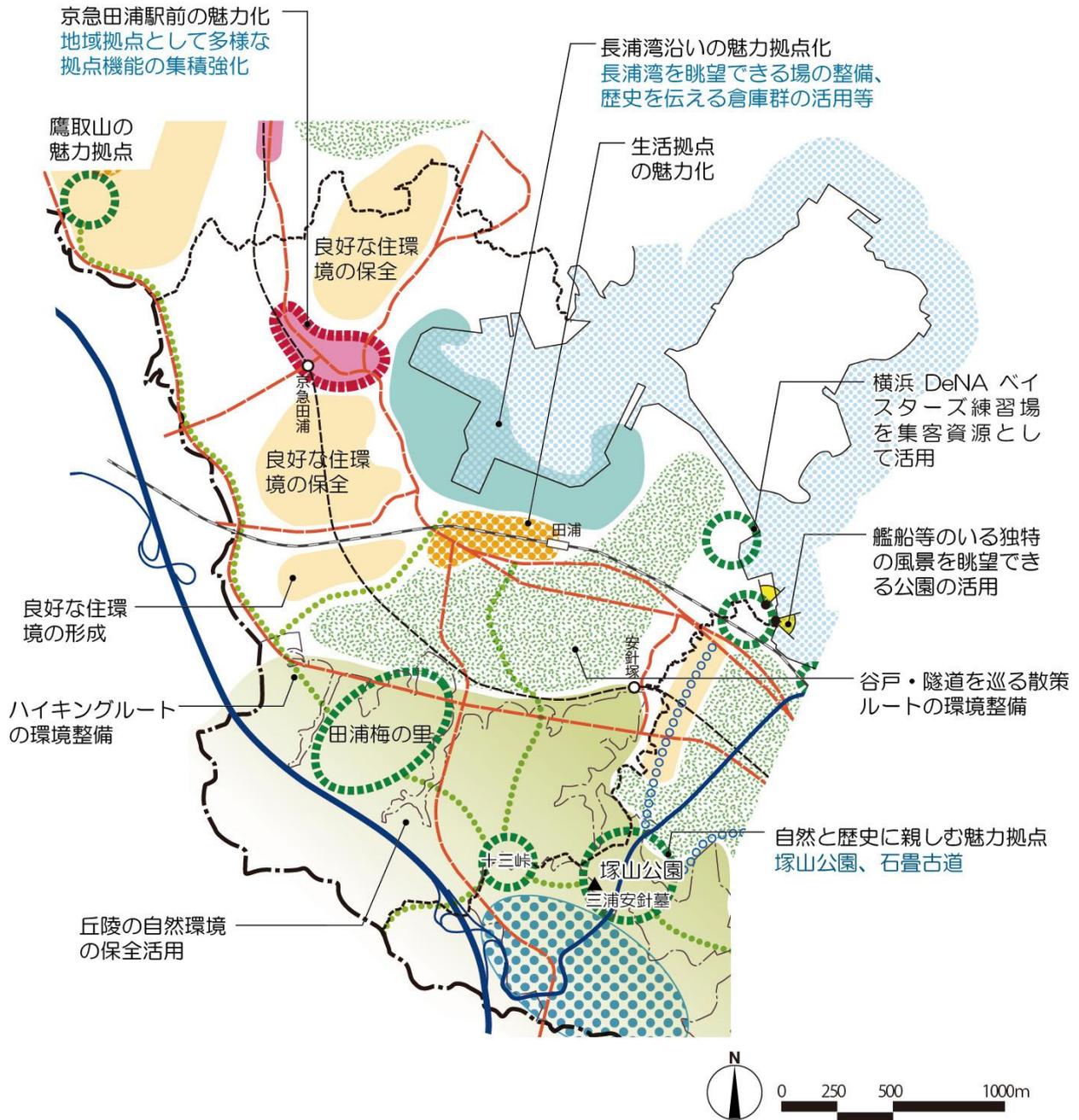
- ・長浦湾を身近に親しめるように、回遊ルートや憩いの場の拡充を図り、特徴ある海の風景を魅力拠点としていきます。
- ・丘陵のみどりに親しむ交流拠点として、田浦梅の里、塚山公園の環境整備と利便性の向上を図ります。
- ・谷戸地域の閑静な自然、トンネル・隧道・階段などの特徴ある地形を巡り、十三峠や三浦安針墓など、地区の歴史を伝える場や、田浦梅の里、塚山公園の交流の拠点に至る散策路等を、谷戸の魅力を楽しむ空間としていきます。

【景観形成等】

- ・京急田浦駅前から船越町交差点周辺地区では、地域の特性を活かし、拠点市街地に相応しい賑わいと魅力のある都市景観の形成を図ります。
- ・谷戸地域では、市民や土地所有者の協力を得て、斜面緑地の特徴ある景観を保全していきます。



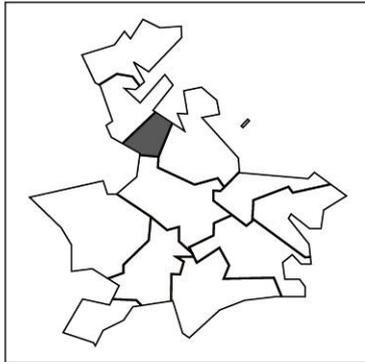
◆田浦地区の魅力創造



3：逸見地区のまちづくり方針

(1) 概況

◆逸見地区の位置



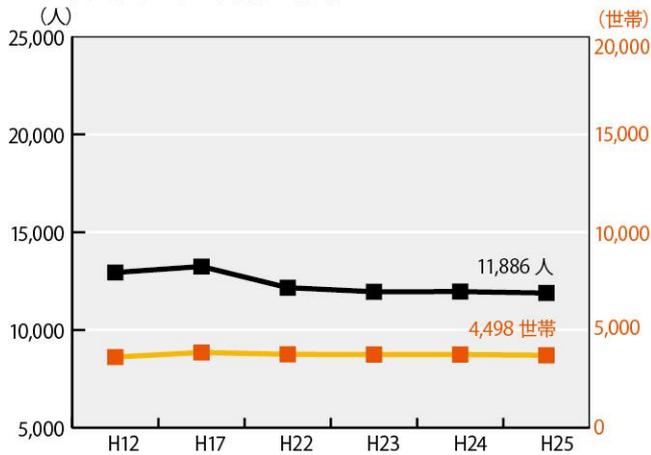
【地区の特徴】

- 丘陵が海に迫る地形で平坦地の少ない市街地であり、早くから斜面地での住宅地が形成されてきた。近年は安針台、ウェルシティ、逸見が丘等での一団の住宅開発も行われ、高齢化率は市平均を下回っている。離れた谷戸を結ぶ防災トンネル等による地区内のネットワークも図られている。

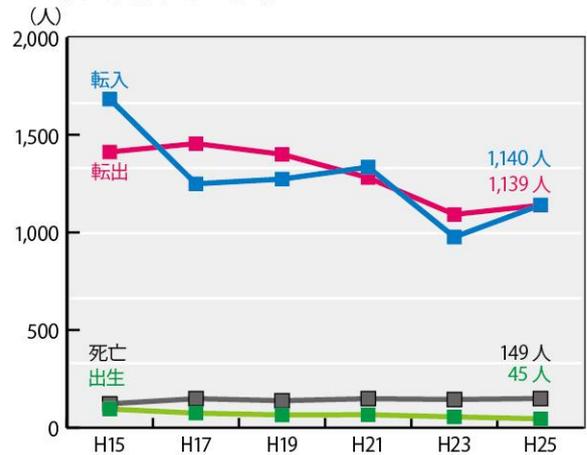
【まちづくりの魅力資源】

- 歴史：三浦按針、逸見浄水場、ヴェルニー公園、JR横須賀駅等
- 自然：塚山公園、西逸見ほたるの里等
- まち：ウェルシティ、安針台、海を眺望する公園等

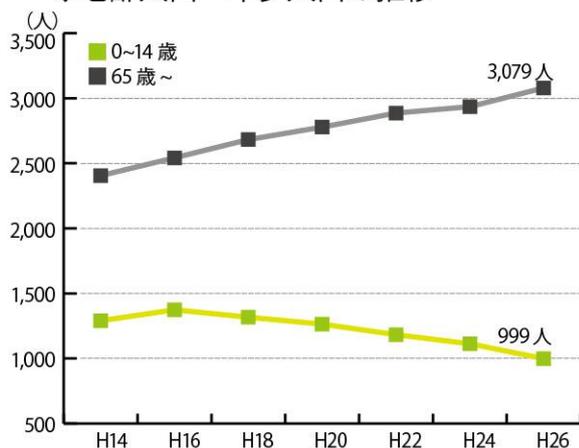
◆人口・世帯数の推移



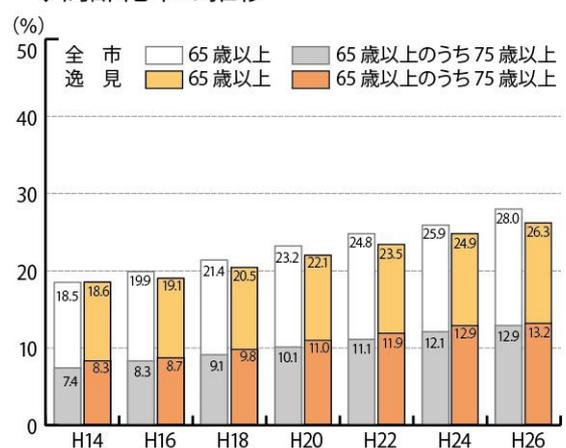
◆人口異動の推移



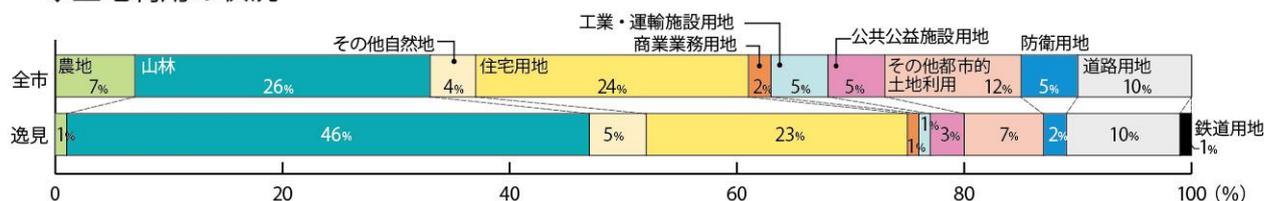
◆高齢人口・年少人口の推移



◆高齢化率の推移



◆土地利用の状況



(2) まちづくりの目標

○平坦地の少ない市街地の中で、海の眺望と谷戸の自然を生かし、地域のコミュニティを育み安心して暮らすことのできるまちづくりをめざします。

「海と丘陵を結び谷戸の生活環境を改善するまちづくり」

(3) 土地利用の方針

【土地利用の骨格形成】

- ・塚山公園周辺の丘陵地の緑地は、田浦梅の里や阿部倉・大楠山に連なる都市の骨格を形成する緑地ゾーンとします。
- ・JR横須賀駅周辺は、汐入駅周辺から横須賀中央駅周辺につながる本市の都市拠点として、多様な都市機能の集積を図ります。

【住宅地】

- ・吉倉町、東逸見町などの谷戸地域は、低密度の低中層住宅を中心とした住宅地とし、環境との調和や市街地の改善を図ります。谷戸地域の持つ環境や地域コミュニティの良さを生かして多様な居住の場としていく地区や、長期的には他の地区へ住み替えなどにより縮退を図る地区など、谷戸の特性に応じた誘導を推進します。(みどりの豊かな住宅地形成、谷戸地域の利便性向上や防災性向上に貢献する開発の誘導、基盤未整備地区での段階的な縮退など) ①
- ・逸見が丘の住宅団地は、低密度の低層住宅地とします。(良好な住環境の保全など) ②
- ・安針台の住宅団地は、オープンスペースの中での中密度の中高層住宅地としての環境を維持保全していきます。(みどりの豊かな住環境の維持保全など) ③

【商業業務地】

- ・国道16号、市内環状線、根岸東逸見線の沿道地区は、日常生活の利便に資する商業業務機能や居住機能が共存する複合市街地とします。(生活利便施設や都市型住宅の立地誘導、賑わいのある商店街づくりなど) ④
- ・中心市街地と連担して都市拠点を形成するウェルシティは、商業、業務、医療、福祉、文化、交流、健康増進、居住等の複合する健康生活の拠点としての機能を維持していきます。また、海の眺望を生かした交流の場として、ヴェルニー公園につながる空間を形成していきます。⑤

【工業地等】

- ・横浜横須賀道路横須賀インターチェンジ周辺地区は、丘陵の緑地環境を保全しつつ、広域交通の利便性を活かした流通業務等を中心とした機能の誘導を図ります。⑥

【緑地等】

- ・田浦梅の里から塚山公園に至る丘陵上部は、都市の骨格を形成する緑地ゾーンとします。(自然環境や景観の保全、レクリエーション拠点としての整備など) ⑦

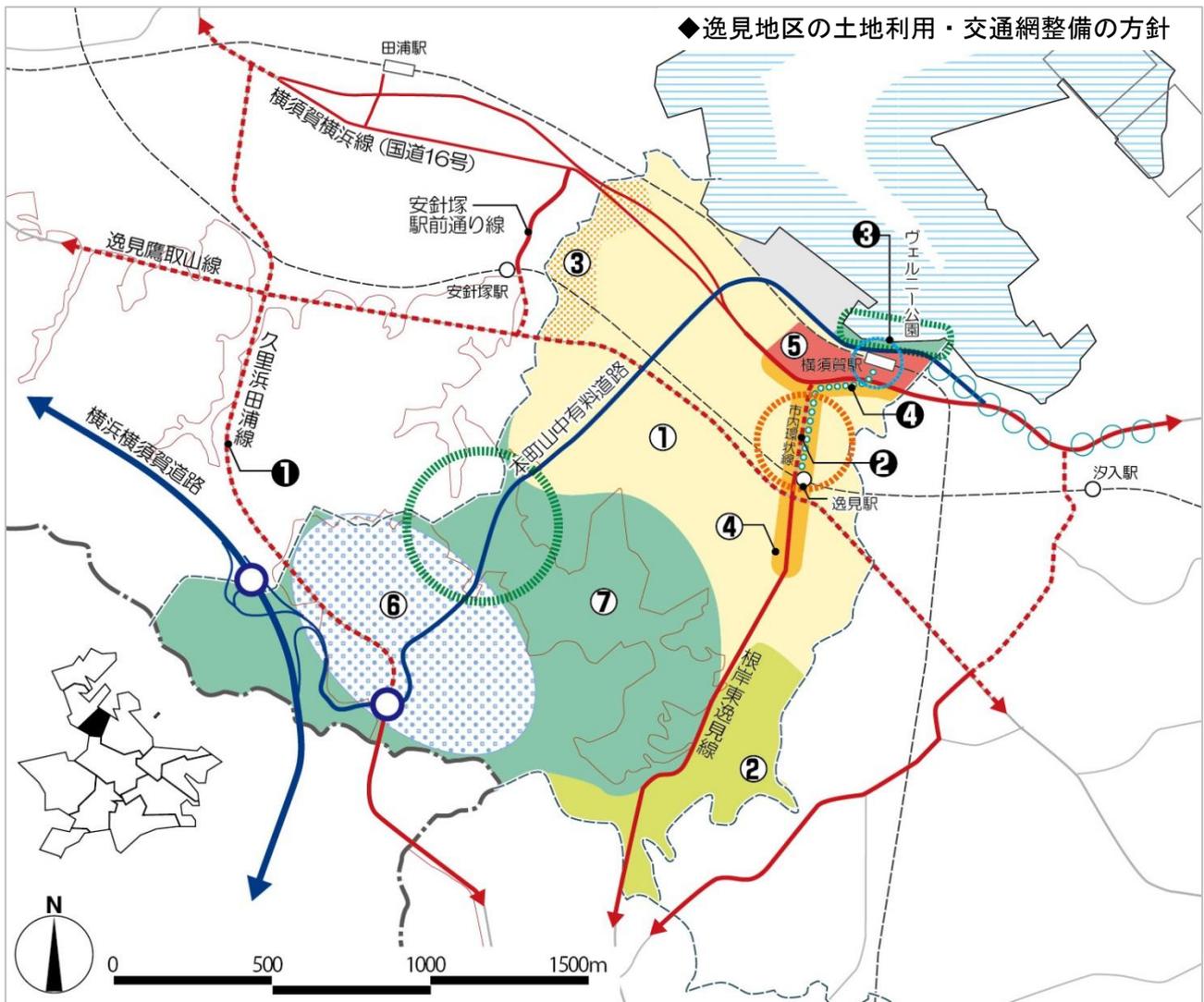
(4) 交通網整備の方針

【交通網の骨格形成】

- ・国道 16 号、本町山中線を経て横浜横須賀道路により、広域とのネットワークを形成します。
- ・国道 16 号、市内環状線、根岸東逸見線により、都市内でのネットワークを形成します。(※国道 16 号は広域ネットワークと都市内ネットワークの 2 つの役割を持つ。)
- ・J R 横須賀駅を拠点として、公共交通のネットワークを形成します。

【交通網整備方針】

- ・久里浜田浦線の整備を促進し、国道 16 号の交通負荷を軽減します。❶
- ・京急逸見駅から国道 16 号に至る市内環状線の整備を進めます。(根岸東逸見線からの交通の円滑化、歩行者空間の拡充など) ❷
- ・JR 横須賀駅周辺での交通結節点機能の強化、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備、歩行者空間の充実などを図ります。❸
- ・JR 横須賀駅と京急逸見駅の連絡機能の強化を進めます。❹
- ・谷戸地域の生活利便性の向上や防災性の向上に貢献する道路網の整備を進めます。(行き止まり道路の解消、建て替え時の壁面後退と道路整備、通学路等における安全性の向上など)



(5) 都市魅力の創造方針

○谷戸と海の魅力の発信

- ・田浦地区や本庁地区に挟まれた地区であり、みどり豊かな谷戸の住宅地が多い。鉄道駅や中心市街地にも近い便利な谷戸では、谷戸の持つ閑静な環境や良好な眺望などを生かしたまちづくりを進めます。
- ・J R横須賀駅周辺では、中心市街地の一翼を担う地区として多様な都市機能の集積を高めつつ、ヴェルニー公園と共に特徴的な海の景観を楽しむ交流の場としての環境整備を進めます。

【魅力拠点のネットワーク】

- ・田浦梅の里～塚山公園～阿部倉～大楠山のハイキングルート of 環境整備を行います。
- ・横須賀本港を眺望する臨海第二公園～ヴェルニー公園は、艦船の見える独特の海の風景を楽しむ場としての環境整備を行います。
- ・J R横須賀駅～塚山公園～三浦安針墓を、谷戸の景観に親しみ「青い目のサムライ・三浦按針」の歴史をしのぶルートとして環境整備を進めていきます。



【賑わい拠点の形成】

- ・ウェルシティ周辺を都市拠点とし、本市の商業、業務、医療、健康、福祉、子育て支援、交流、サービス等の拠点としての機能集積を図ります。
- ・市内環状線及び根岸東逸見線の沿道では、日常生活の利便性を高める各種店舗等の集積を図ります。
- ・地元のまちづくり活動拠点と連携して、地区の個性を生かした魅力づくりを進めます。



【産業拠点の強化】

- ・横浜横須賀道路横須賀 I C 周辺地区は、丘陵の自然環境を保全したみどり豊かな環境の中に流通業務機能を中心とした土地利用を推進します。

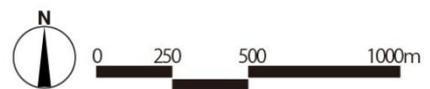
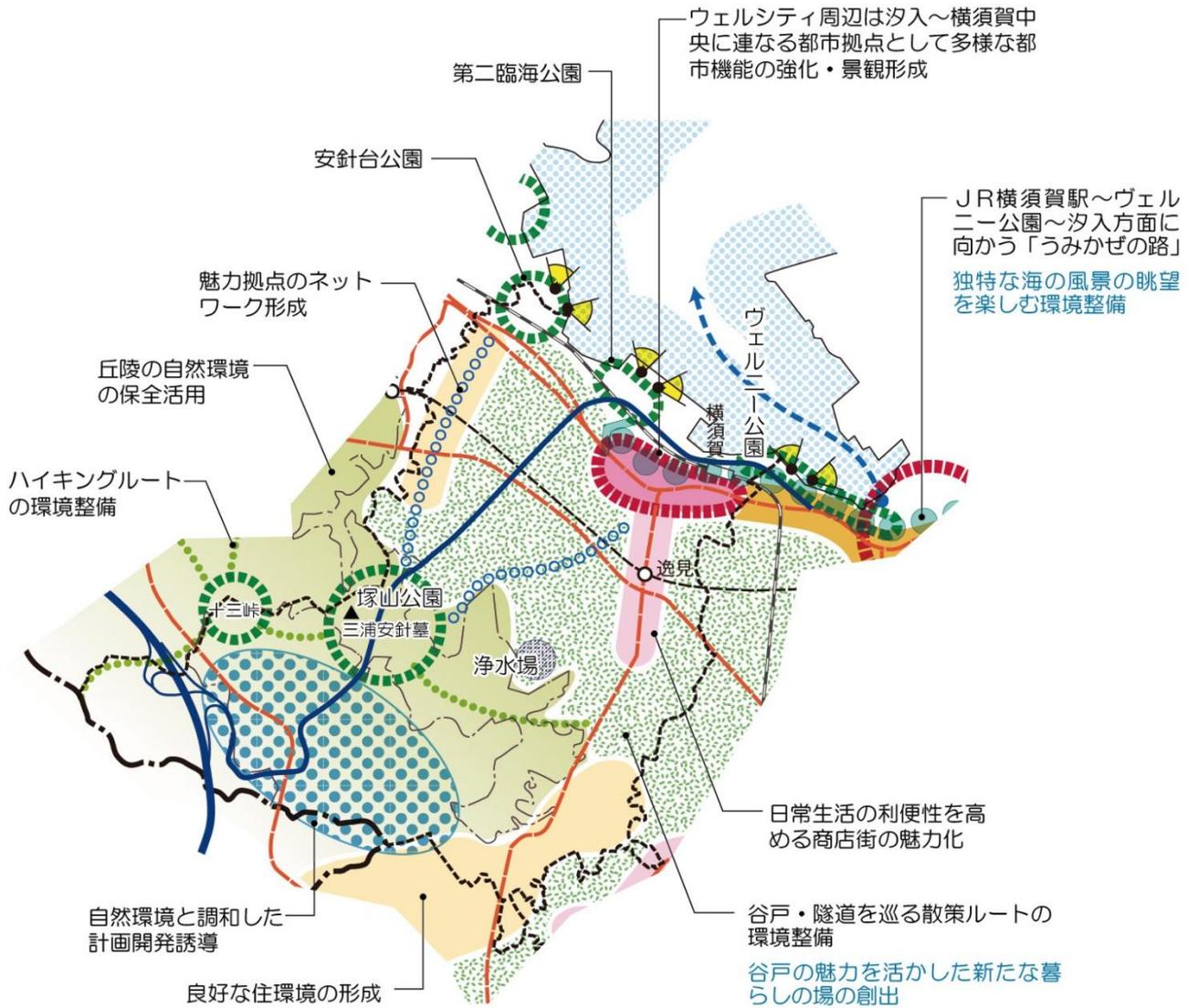


【景観形成等】

- ・谷戸地域では、市民や土地所有者の協力を得て、斜面緑地の特徴ある景観を保全していきます。
- ・うみかぜの路の起点であるヴェルニー公園（臨海公園）は、特徴ある海辺景観を活かし、潤いのある公園として利便性の向上を図ります。



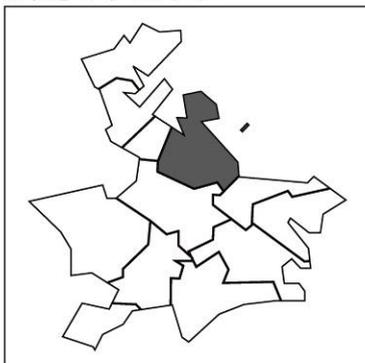
◆逸見地区の魅力創造



4：本庁地区のまちづくり方針

(1) 概況

◆本庁地区の位置



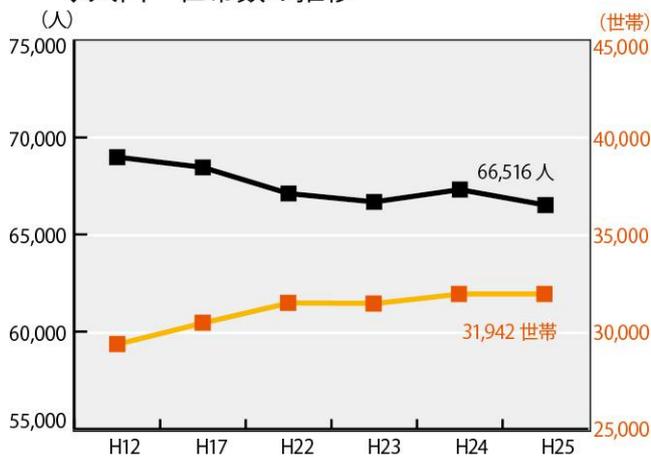
【地区の特徴】

・ 戦前から本市の中心商業地として形成された横須賀中央駅周辺や、新たに形成された汐入駅周辺や平成町一帯は、本市の都市拠点として多様な機能が集積し、歴史・文化を伝える資源も多い。

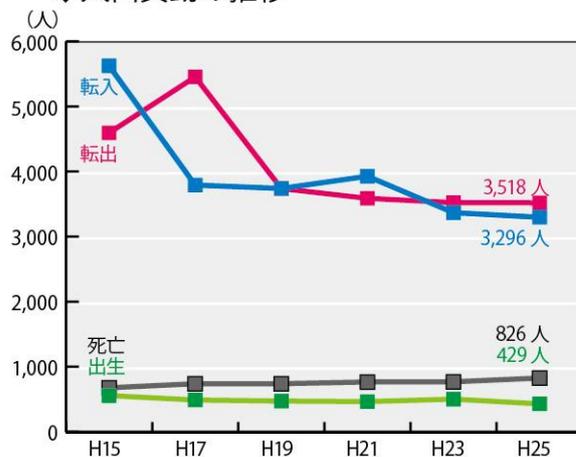
【まちづくりの魅力資源】

- 歴史：うらが道、軍港巡り、ベース内施設（旧海軍工廠ドッグ、旧横須賀鎮守府庁舎等）、記念艦三笠等
- 自然：猿島、うみかぜの路と海の施設、漁港等
- まち：どぶ板通り、ベース、三笠公園、ポートマーケット

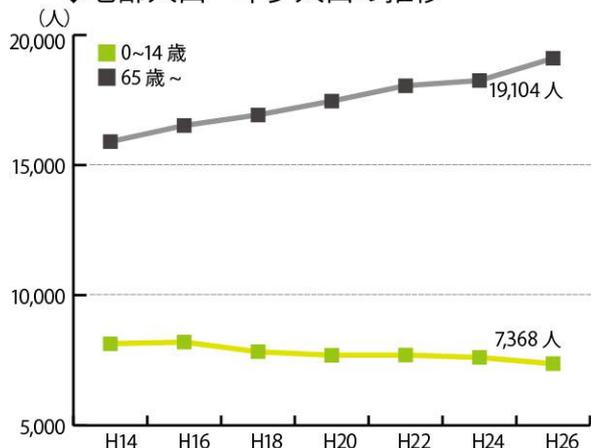
◆人口・世帯数の推移



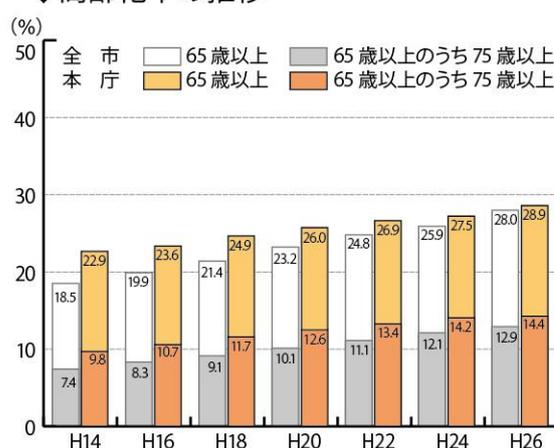
◆人口異動の推移



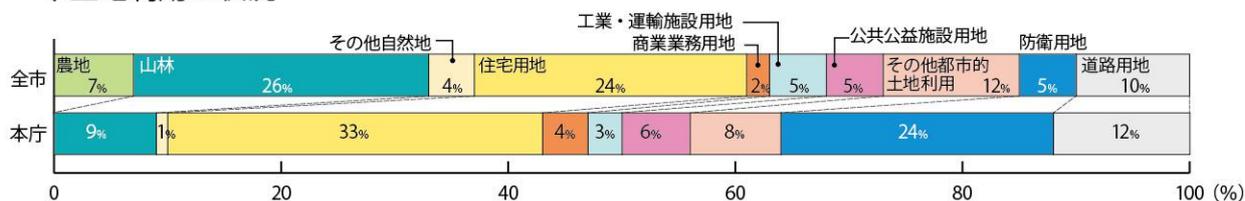
◆高齢人口・年少人口の推移



◆高齢化率の推移



◆土地利用の状況



(2) まちづくりの目標

○本市の都市拠点として高次の都市機能を集積し、横須賀らしさを発信する交流拠点として歴史、文化、自然の魅力を創造するまちづくりをめざします。

「海にひらかれた横須賀の都市文化を発信する 拠点を形成するまちづくり」

(3) 土地利用の方針

【土地利用の骨格形成】

- ・ JR横須賀駅周辺から汐入駅周辺・横須賀中央駅周辺・平成町にかけての地区は、高次都市機能の集積する本市の都市拠点とします。
- ・ 京急線以南等の丘陵部の市街地は住宅地としての土地利用を基本とします。
- ・ 幹線道路沿道等に形成された商店街は、地区の日常生活の利便性を支える店舗と住宅が複合する商業地とします。

【住宅地】

- ・ 汐見台等の丘陵上部の住宅団地は、低密度の低層住宅地とします。(良好な住環境の保全など) ①
- ・ 汐入町、坂本町などの谷戸地域は、低密度の低中層住宅を中心とした住宅地とし、環境との調和や市街地の改善を図ります。(みどりの豊かな住宅地形成、谷戸地域の利便性向上や防災性向上に貢献する開発の誘導など) ②
- ・ 横須賀三崎線などの幹線道路の沿道地区の後背地は、低密度の低中層住宅を中心とした住宅地とします。(災害に強い住環境形成など) ③
- ・ 安浦町、三春町などの京急線北側の住宅地は、中密度の低中層住宅を中心とした住宅地とします。(共同建替え、不燃化・難燃化の促進、開発に合わせた生活道路の改善など) ④

【商業業務地】

- ・ JR横須賀駅周辺から汐入駅周辺、横須賀中央駅周辺を経て平成町に至る、本市の中心市街地を形成する地区は、商業、業務、医療、福祉、教育、文化、交流、観光、居住等の都市機能の集積する拠点商業業務地として、既存ストックを活用しつつ計画的な再開発等を誘導します。(市街地再開発、計画的な高度利用、都市機能の集中立地など) ⑤
- ・ 安浦町から三春町にかけての国道16号沿道地区は、日常生活の利便に資する商業業務機能や居住機能が共存する複合市街地とします。(生活利便施設や都市型住宅の立地誘導、賑わいのある商店街づくりなど) ⑥
- ・ 新港地区は官公庁施設や商業、業務、観光機能などの集積により、中心市街地における新たな交流拠点としていきます。⑦
- ・ 県立大学駅周辺、堀ノ内駅周辺では、地区の生活拠点として生活利便施設の立地を誘導します。
- ・ 横須賀三崎線、横須賀葉山線の沿道地区は、日常生活の利便に資する商業業務機能や居住機能が共存する複合市街地とします。(生活利便施設や都市型住宅の立地誘導、賑わいのある商店街づくりなど) ⑧

【産業地等】

- ・ 海辺ニュータウン地区内の工業地は、都市型工業地として維持します。⑨
- ・ 海辺ニュータウン地区に連なる三春町地区は、工業、商業、業務、都市型住宅などが共存する産業共存市街地として維持します。⑩

【緑地等】

- ・猿島公園は、歴史や自然を活かしたエコミュージアムとして、整備・活用します。⑪
- ・不入斗公園は、運動公園としての機能を維持するとともに、中心市街地に近接した市街地内のみどりの拠点として、市民交流機能の強化を図ります。⑫
- ・中央公園は、憩いの場としての機能を維持するとともに、東京湾・猿島公園への良好な眺望を保全していきます。⑬

(4) 交通網整備の方針

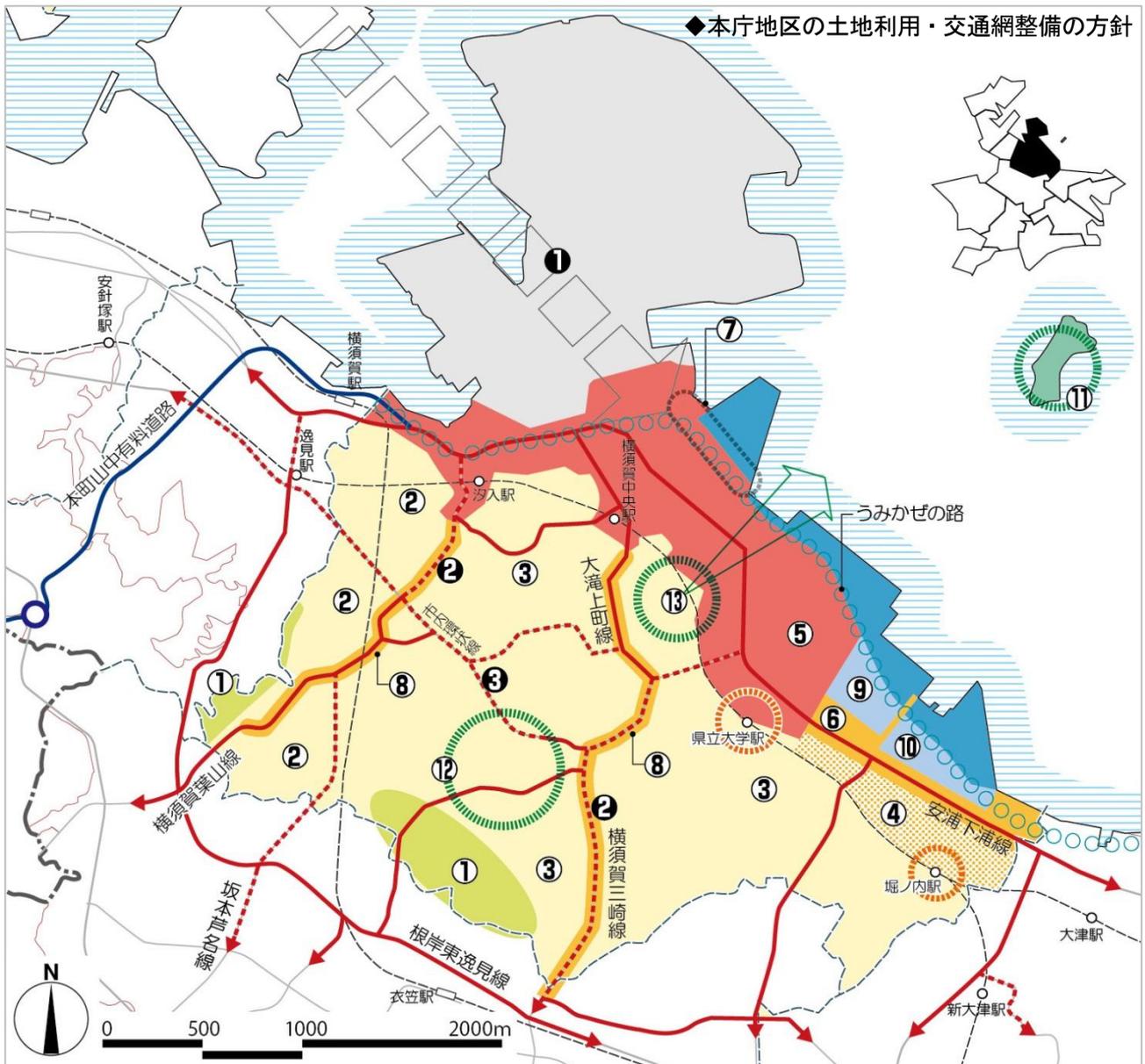
【交通網の骨格形成】

- ・国道 16 号、本町山中線を経て横浜横須賀道路、国道 357 号南下延伸構想ルートにより、広域のネットワークを形成します。
- ・国道 16 号、市内環状線、坂本芦名線、横須賀三崎線、安浦下浦線、根岸東逸見線等により、都市内でのネットワークを形成します。(※国道 16 号は広域ネットワークと都市内ネットワークの 2 つの役割を持つ。)
- ・汐入駅周辺、横須賀中央駅周辺を拠点として、公共交通のネットワークを形成します。

【交通網整備方針】

- ・国道 357 号の南下延伸の早期具体化を目指します。❶
- ・横須賀葉山線、横須賀三崎線などを整備し、中心市街地への連絡を強化します。(交差点の改良やバス交通の定時性の確保など) ❷
- ・市内環状線の整備により地区内の円滑な交通の実現を図ります。❸
- ・谷戸地域の生活利便性の向上や防災性の向上に貢献する道路網の整備を進めます。
- ・汐入駅前や横須賀中央駅前の交通結節点機能を強化し、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を進めます。(歩行者空間の充実、駐車場・駐輪場の整備誘導、駅施設利用の利便性の向上など)

◆本庁地区の土地利用・交通網整備の方針



(5) 都市魅力の創造方針

○独特な要素をプラスに転換して中心市街地の賑わいを演出

○1万mプロムナード（うみかぜの路）による海と街の魅力をつなぐ

- ・本市の歴史、文化、自然を生かして、都市型観光の拠点ゾーンとなる魅力づくりと、生活利便性を生かした都市型住宅の集積を高めます。
- ・うみかぜの路を軸として海の魅力を生かした交流ゾーンを形成します。

【魅力拠点のネットワーク】

- ・本庁地区の海沿いは本市の歴史と文化が創り出した様々な都市魅力があります。これらをうみかぜの路を軸としてネットワークし交流の拠点ゾーンを形成していきます。（JR横須賀駅～ヴェルニー公園～横須賀芸術劇場～ベース（米軍基地）～記念艦三笠・三笠公園～猿島～ポートマーケット～どぶ板通り～横須賀中央駅周辺～うみかぜ公園～海辺釣り公園～堀ノ内駅）
- ・横須賀中央駅周辺で、一日を楽しく過ごせる魅力資源のネットワーク化を図ります。

（横須賀中央駅～若松通り沿道～横須賀三崎線沿道～三笠ビル～どぶ板通り～ベース～記念艦三笠・三笠公園～猿島～ポートマーケット）

【賑わい拠点の形成】

- ・都市拠点である汐入駅周辺、横須賀中央駅周辺、平成町一帯で、商業業務、文化、観光等の広域的な交流機能の集積を高めていきます。特に、横須賀中央駅周辺では、再開発等に合わせて宿泊・コンベンション機能の強化を推進します。
- ・不入斗運動公園を核としY-HEART地区等との連携によるスポーツ交流の場の形成を図ります。
- ・新安浦港や魚市場では、産業の機能に加えて見学等で気軽に立ち寄れる魅力拠点づくりを推進します。

【景観形成等】

- ・谷戸地域では、市民や土地所有者の協力を得て、斜面緑地の特徴ある景観を保全していきます。
- ・都市的交流の場として、中心市街地における個性ある都市景観の形成を進めます。（商業地の賑わい、独特な「ウォーターフロント」の風景、「ベース」のイメージの活用など）



◆本庁地区の魅力創造

